

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 2 9 日作成)

小委員会名	建築ストック法制度研究小委員会	主 査 名：杉山義孝 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築法制委員会	委員長名：松本光平
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 今後の我が国の膨大に蓄積された建築ストックの合理的利用にふさわしい、 「ストック時代における建築規制のあり方」を探求する。 初年度：本研究の意義、建築ストックに対する現行法制度の問題点と課題の抽出 2 年度：ストック時代にふさわしい法制度に向けての課題の設定 3 年度：上記課題に応える法制度のあり方に関する研究成果案の作成 4 年度：上記案に関する会員等意見聴取を経て研究成果としてまとめ	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：2005 年 4 月に公募し、河野秀二郎委員が就任 杉山義孝 (建築防災協会)、松本光平 (明海大学)、柳沢厚 (C - まち計画室)、平野吉信 (国土技術政策総合研究所)、五條渉 (国土技術政策総合研究所)、飯田直彦 (国土技術政 策総合研究所)、竹市尚広 (竹中工務店)、峰政克義 (住宅総合研究財団)、春原匡利 (東 京建築検査機構)、諏訪彰 (三菱地所設計)、兵藤幸治 (BEEGL 研究所)、高田裕章 (清水 建設)、田中元雄、赤碕弘平 (大阪市立大学)、河野秀二郎 (河野構造設計事務所)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2006 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	建築法制部門研究協議会 参加者数 開会時 5 1、延べ約 1 0 0 名 建築ストック社会における建築法制度を考える ー既存不適格建築物を対象としてー 搬入部数 2 7 0 部完売
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし

目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	今年度の目標である、ストック時代にふさわしい法制度に向けての課題の設定に関しては、既存不適格建築物及び違反建築物に対する制度の現状を収集整理し、これら諸制度について、ストック時代にふさわしいものとするため、次の課題を、小委員会及び大会研究集会を通じて、明らかにした。 1 .既存不適格制度に関する課題としては、増改築等での遡及適用という原則が、設計及び行政の実務上、難しい面がみられることから、増改築前後の性能評価手法の開発や性能引き上げを恒常的に促す仕組みの整備拡充が必要； 2 .違反建築物対策制度に関する課題としては、少なくない違反建築物に建築指導体制が十分に対応できず、ストック時代の今後も違反建築物が残るおそれがあることから、建築主や購入者への基準適合状況の開示などを通じて、性能引き上げを強く促す仕組みの整備拡充が必要； 3 .以上2点から、既存不適格または違反の建築物を一定の性能水準に引き上げる制度として、確認検査制度及び定期報告制度のあり方、一定の性能水準とはどのような性格のどのような値のものか、等に関して、小委員会が調査研究すべき課題として見出された。
委員会活動の問題点・課題	ほぼ毎月開催の小委員会では、委員あるいは外部から招いた者からの経験に根ざして提供された話題について活発な質問や意見交換がなされ、そこで得られた情報や見解は、大会において発表し、大会参加者からは我々の調査研究への理解とともに、今後の調査研究にむけての示唆を頂いた。 2007年度は、上欄3.にいう課題に関して、小委員会では、適宜、外部から有識者を招き、同課題にある論点を抽出整理し、それら論点を、公開のミニシンポジウムにおいて披瀝し、広く意見交換しながら、研究成果をとりまとめたい。